

旧東海道 大磯宿を訪ねる

日 時：11 月 20 日（土）

コース：JR 大磯駅→江戸方見付跡→延台寺→小島本陣跡→地福寺→照ヶ崎海岸→松本順謝恩碑  
 →新島襄終焉の地→鳴立庵→大磯町役場（休憩）→上方見付跡→旧島崎藤村邸  
 →明治記念大磯邸園 解散 12：00 頃 [徒歩約 7 km]

① ⑨	江戸方見付跡 上方見付跡	もともと見張りの番兵を置いた軍事施設で。江戸城では外堀に沿って多数の見付が配置されていました。宿場の入口にも見付がありました。江戸側にあるものを江戸方見付、京側にあるものを上方見付と呼びます。
②	延台寺	日蓮宗。寺伝によれば、曾我十郎の恋人であった虎御前が、十郎亡きあと尼になって、高麗山北麓の虎池の傍らに小さな庵「法虎庵」を営んだのが始まりといわれ、その後、永禄年間（1558～70）、この地に移されたとされています。
③	小島本陣跡	小島本陣は大磯に三軒あった本陣の内、建坪 246 坪と最大のものでした。当主は代々才三郎を名乗り、大名宿泊の当日には御目見えを許されていました。明治に移ると、廃藩置県と共に本陣としての使命を終え、明治 5 年（1872）に廃業しました。
④	地福寺	真言宗。創建は承和 4 年（837）、本尊は不動明王。境内の一面に小説「破戒」「夜明け前」などで有名な作家で詩人でもあった島崎藤村（1872～1943）と静子夫人の墓があります。晩年を大磯で過ごした藤村がこの境内の小梅林を愛し、その遺言でここを永遠の眠りの地に選んだといえます。
⑤ ⑥	照ヶ崎海岸 松本順謝恩碑	初代軍医総監松本順の尽力により、わが国最初の海水浴場として大磯海水浴場が照ヶ崎海岸に開設されたのは明治 18 年のことです。
⑦	新島襄終焉の地	早稲田の大隈重信、慶応の福沢諭吉とともに明治の三大教育者として知られる同志社の新島襄は、大磯町の旅館百足屋の一室で 47 歳の生涯を閉じています。
⑧	鳴立庵	西行法師の歌で名高い鳴立沢に、寛文 4 年（1664）小田原の崇雪が草庵を結んだのが始まりで、元禄 8 年（1695）俳人の大淀三千風が入庵し、第一世庵主となりました。現在は京都の落柿舎、滋賀の無名庵とともに日本三大俳諧道場の一つと言われています。
⑩	旧島崎藤村邸	昭和 16 年（1941）1 月 14 日、左義長を見に来磯した藤村は、温暖なこの地が非常に気に入って、春には台町のこの家に住むようになり、71 歳で永眠されるまでの 2 年余をここで過ごしました。
⑪	明治記念大磯邸園	明治時代から避暑・避寒地として、伊藤博文をはじめ、明治政界の要人たちが多く別荘等を築きました。歴史的な建築群や緑地を一体的に保存・活用するため、「明治 150 年」関連施策の一環として整備が進められ、令和 2 年から一部区域が公開されました。
	滄浪閣跡	明治 23 年に小田原に建てられた伊藤博文の別邸で、明治 30 年に中郡大磯町に同名の別邸を建てて移転し、本籍も大磯町に移した。
	旧吉田邸	吉田茂元総理の養父で貿易商の吉田健三氏が明治 17 年に別荘を建てたのが始まりで、戦後内閣総理大臣を務めた吉田茂が晩年を過ごした本邸です。再建し、平成 29 年 4 月より公開されました。

\*コースは、道幅・歩道が狭い箇所や生活道路を歩きます。横に広がらないようにご協力をお願いします。

&lt;次回案内&gt;

鎌倉古道・泉区上飯田地区を訪ねる

日時：2021 年 12 月 18 日（土） 相鉄いずみ野線 いずみ中央駅 9 時～15 分受付

スタッフ募集中

せや・ガイドの会：竹見（☎090-3900-6469）までお問い合わせください。

ホームページ「せや・ガイドの会」【検索】<http://www7b.biglobe.ne.jp/~seya-guide/index.html>